

記事掲載：2022年12月

翻訳：2023年1月

ECW、エチオピアの干ばつ対策として 500 万米ドルの助成を発表 ECW の総資金額は 6,000 万米ドル



©Education Cannot Wait

気候変動により、過去 40 年間で最悪の干ばつが発生し、何百万人もの子どもたちの学びに影響を与えています。ノルウェー難民協会(NRC)とユニセフによる新たな支援により、エチオピアの 8 万 5000 人の子どもたちが安全で保護された学習の機会を得ることができるようになりました。

同国では干ばつによって、160 万人の子どもたちが影響を受けています。子どもたちの命が奪われ、数百万人もの子どもが、飢餓状態に追い込まれている壊滅的な状況に対し、緊急事態下の教育に力をいれるための教育基金「Education Cannot Wait（教育を後回しにはできない基金、以下 ECW）」は、500 万ドルを拠出し、8 万 5000 人以上の子どもと思春期の若者に、質の高い、抱擁的で安全な学習の機会を提供することを発表しました。

ECW のエチオピアにおける継続的な支援を基盤とするこのプロジェクトは、NRC とユニセフによって 12 カ月間にわたり実施されます。同支援は、これまで、エチオピアをはじめアフリカの多くの地域で社会的・経済的な発展を滞らせている気候変動、紛争、強制移住などの複合的な危機の影響を受けている 25 万人の子どもたちを支援しており、支援総額は、現在 5,950 万米ドルを超えています。

「エチオピアの子どもたちに背を向けてはなりません。世界のリーダーたちは、より良い世界を築くために、教育の力を活用した変革的な行動を促進するために、緊急の資金援助を表明すべきです。気候危機は、教育の危機でもあるのです。エチオピアの最も脆弱な子どもたちの教育に投資することは、気候危機に対する長期的な解決策と、アフリカに住む人びとの明るい未来への投資になります」と、ECW 事務局長ヤスミン・シェリフは述べています。

過去 40 年間で最悪の干ばつは、紛争を引き起こし、家族を家から追いやり、子どもは飢餓に苦しんでいます。人々は安全、保護、そして教育がもたらす機会を必要としています。

エチオピアでは、たった半年間で、学校に通っていない子どもの数が 310 万人から 360 万人に急増しました。アフール、オロミア、シダマ、ソマリ、南部諸民族州、南西部諸民族州では、推定 48 万人の子どもが学校に通っておらず、干ばつにより 4,500 以上の学校が閉校となる恐れがあります。

ユニセフによると、干ばつが深刻な地域では、干ばつが引き金となった混乱と恐怖とともに、女性性器切除 (FGM) や早すぎる結婚といった性暴力の発生が、昨年より 119% 増加したと発表しました。

「現在、ソマリ地域の半数を超える子どもたちが学校に通っておらず、さらに多くの子どもたちが中途退学する危機にさらされています。この不安定な状況においても、弱い立場に置かれた子どもが学び続けられるための支援が必要です。干ばつの影響を受けた子どもの中でも、特に女の子は、家庭や学校での不十分な食料や水、気候による強制移住、教員数が限られていることなど、複合的な課題に直面しています。NRC の国統括事務所長のアイザック・オディアンボ・ウーコは、「ECW とともに、NRC はこれらの課題に対処し、子どもたちが学校に戻り、学習を続け、レジリエントな（回復力のある）未来を築くことができるようにします」と述べています。

「すべての子どもは、どこにいても教育を受ける権利があります。ECW からの新たな資金提供に感謝するとともに、NRC やその他のパートナーと協力し、より多くの子どもたちが学校に戻れるようになることを期待しています。教育によって子どもたちはその可能性を最大限に発揮し、自分自身とコミュニティのためにより良い未来を築くことができます」とユニセフ・エチオピア事務所代表代行である籠嶋真理子は述べました。

この支援は、危機的状況にある思春期の若者を含む女の子や男の子の学習とウェルビーイングを向上することを目指しています。そのために、エチオピアの 6 カ所の干ばつ地域（アフール、オロミア、シダマ、ソマリ、南部諸民族州、南西部諸民族州）の 8 万 5782 人の子ども（60%が女の子、10%が障害のある子ども）に質の高い、抱擁的で安全な学習機会を提供します。

この支援により、学習環境の改善、現金給付による子どもの就学奨励、ノンフォーマル教育や補習授業の支援、障害を持つ子どものためのバリアフリー化、水と衛生設備の改善、心理社会的支援、地元・国内・国際的な関係者との連携による教育提供の強化など、総合的な教育成果をもたらします。

ECW とその戦略的パートナーは、ここ数ヶ月、[中央アフリカ共和国](#)、[チャド](#)、[パキスタン](#)、[ソマリア](#)、[スーダン](#)などの被害が大きい地域で、気候危機に対応した一連の教育支援を展開しています。

今年 2 月にジュネーブで開催される ECW [ハイレベル増資会合](#)は、気候変動対策と教育対策を結びつけることで、世界の指導者が歩み寄り、パリ協定と持続可能な開発のための 2030 アジェンダで示された約束を果たすために重要な機会となります。

【翻訳前の記事（英語）】

[Education Cannot Wait Announces US\\$5 Million Grant in Response to Drought in Ethiopia: Total ECW Funding \\$60 Million](#)

